

清水千弘ゼミナール

【**題目**】データサイエンス(AI)・経済学×社会(科学の力で未来をデザインする)

【**到達目標**】人類が未来において直面することが予想されている困難を特定し、社会が、企業が抱える問題を正しく理解し、データサイエンス・経済学の知識・技術を使って問題の根幹的な構造を解明し、未来をデザインすることが出来る。

【**講義内容**】人口知能(AI)、データサイエンス、経済学を使って、未来をデザインする課題として、以下のものを掲げる。

(修得できる知識・技量)

- ・知的生産の技術(KJ法、二次展開法など)
- ・プレゼンテーション技術(言葉+文章)
- ・プログラミング(R, Python)
- ・統計解析・計量経済学的接近法
- ・経済理論と経済モデリング

(応用領域)

- ・気候変動と持続可能性の高い社会をデザインする
- ・人口減少・高齢化に伴う社会の縮退を理解し、対策を講じる
- ・不平等の固定化に関する構造を理解し、対策を講じる
- ・AIと人との分業の分担基準を設定し、企業の経営をデザインする
- ・AIを用いた新しい事業創造(AIビジネス)をする

左側がゼミの中で「修得する知識と技術」である。それを用いて「応用領域」の課題を研究し、新しい未来をデザインする。

【**授業計画**】

- 第1回 未来の社会課題(講義)
- 第2回 未来の社会課題を発見する(KJ法)
- 第3回 未来の社会課題をデザイン(2次元展開法)
- 第4回 自らが描く未来の社会課題 1(プレゼン・討論)
- 第5回 自らが描く未来の社会課題 2(プレゼン・討論)
- 第6回 人工知能・AIは何をもたらすのか(講義・討論)
- 第7回 経済学はなぜ必要か(講義・討論)
- 第8回 データサイエンスの学び方を学ぶ 1(講義・演習)
- 第9回 データサイエンスの学び方を学ぶ 2(講義・演習)
- 第10回 地域創生の意義と限界 1(地域での活動報告)
- 第11回 地域創生の意義と限界 2(地域での活動報告)
- 第12回 AI・経済学のビジネスへの応用 1(インターン報告)
- 第13回 AI・経済学のビジネスへの応用 2(インターン報告)
- 第14回 未来の社会課題をデザインする 1(論文報告)
- 第15回 未来の社会課題をデザインする 2(論文報告)

【**身に付くように意識している汎用的能力**】

知的な好奇心	○
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
チームワークよく成し遂げる力	○
様々な人と対話する力	◎
他者の立場と痛みを感じる力	○
意志や情報を発信する力	◎
自ら行動する力	◎
自己を受け止める力	○

*身に付くことが出来る能力は測定し、自分の成長を実感する。

【**教科書**】なし。資料を配布します。

【**参考文献**】なし。

【**評価方法**】授業における参加、社会への参加、レポート

【**履修の条件**】なし

【**聴講生・科目等履修生受入**】否

【**他学科生・他専攻生受入**】可

【**他学部生受入**】否

【**当該科目に関連する開設科目**】統計学、AIビジネス、ミクロ経済学、ビジネス・エシックス

【**使用言語**】日本語・英語

【**担当者からの一言**】清水千弘ゼミのホームページをご覧ください。 <https://www.shmzlab.jp/Shimizu-Seminar.html>